

子どもたちの今しかない一日一日を大切に育む学校づくり。

幅広い選択肢で 『挑戦したい』 の自主性を育む

環境・教育・体験の場が整っている雲雀丘学園だから、
子どもたちの自主性を引き出す力があります。

学校法人 雲雀丘学園

雲雀丘学園小学校

SCHOOL GUIDE 2024



お問い合わせ
〒665-0805 兵庫県宝塚市雲雀丘4丁目2-1



HP



Instagram



LINE



Facebook

Welcome to hibanigaoka elementary school



雲雀丘学園創立の意図と歴史

雲雀丘一帯は、古くからの住宅地でありながら教育機関に恵まれず、居住者達の間に、この地にふさわしい学園を要望する声が高まっていました。昭和24年に至り、この地域の財界学界の有志により、社会奉仕の目的のもとに学園創立の委員会が生まれました。初代理事長 鳥井信治郎氏を委員長として、同年に小学校を開校、翌年に幼稚園を併設しました。昭和28年に中学校を開設し、31年には学園の一貫教育を目指して高等学校を設置。さらに50年には中山台幼稚園を開設して現在のような総合学園となりました。



初代理事長 鳥井 信治郎
(サントリーエンタテインメント創業者)





通いたい!

環境づくり

子どもたちが安心して学べる環境を

通いたくなる施設・設備



学園記念講堂



天体観測ドーム



音楽室



プレイパーク



図書館



SL

みんなでつくった『ひばりの里』

昔からある日本の里山を体験させてあげたいという思いから、幼稚園の横にあった枯れ池を蘇らせ、田んぼを作ろうというプロジェクトが始まりました。保護者と共に20tの土と10tの腐葉土をバケツリレーで運ぶところからスタートし、少しづつ整えひばりの里が完成しました。



駅から徒歩3分! 安心の通学路

電車に乗って遠方から通う児童も少なくありません。保護者の方が安心してお子様を送り出せるよう、駅ホーム直結の専用通路を完備し、警備や防犯などのセキュリティ体制を徹底。毎朝教員がホームに立ち、電車から降りてきた児童を出迎えます。



雲雀丘花屋敷駅

セキュリティーも安心

① 登下校メールシステム

児童が正門や専用通路を通過すると、登下校時刻を保護者にメールでお知らせする「登下校メールシステム」を採用しています(希望者のみ)。

② あんしんグーパス

OSAKA PiTaPaの「ジュニア・キッズカード」を購入すると、児童が駅の改札機を通過した際に、保護者へお知らせメールが届くシステムが利用できます。

制服紹介

「ひばりらしい」品のあるデザイン。
子どもらしい元気な紳士淑女がコンセプト。



冬服

夏服



学びたい!

教育づくり

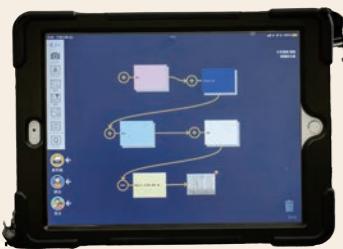
学習意欲を引き出す授業

学びたくなる最新のICT学習



コンピュータとネットワークで情報の受発信が自由にできる情報社会では、確かな情報収集能力・正しい情報発信力が欠かせません。パソコン教室には一人1台のノートパソコン、2021年度からは全学年一人1台のタブレット端末を完備。通信技術を活用したコミュニケーションを実践的に学びます。

資料作りもロイロノートで!



ロイロノートで授業を楽しく、テンポ良く!

クラウド型授業支援アプリ「ロイロノート」を活用することで、授業中の共有や、やりとりも迅速&正確に行います。

情報社会に正しく触れるために

インターネットに対する正しい知識と認識を持てるよう、モラル指導を徹底しています。



特別ゲストによる出前授業

児童の発達段階に応じて、さまざまな企業に出前授業をお願いしています。普段とは違った授業を通して、児童の興味や関心を高めることをねらいとしています。



ひばりタイムで毎日の学習習慣を

毎日朝と昼の時間にそれぞれ20分ずつ、計算・漢字・英語のモジュール学習を実施。短時間で集中して取り組む訓練を繰り返すことで、楽しみながら効率的に知識を定着させることができます。



専門性の高い授業



専門性の高い授業を特別教室の充実(理科室2教室、音楽室3教室、図工室3教室など)と専門教員の充実により、日々行っています。4年生からは国語・算数の授業において教科担任制を導入しています。より専門性の高い授業を展開していくことで、児童の興味や理解を深め、わかりやすさは勿論のこと、より魅力的な授業を目指して取り組んでいます。



具体的に学力を分析

懇談の際、どの分野がよくできいて、どんなところでつまずいているのかなど、次の対策が打てるよう細かく具体的にお伝えします。



Challenge!

英語力づくり

英語4技能をバランス良く

低学年

楽しみながら、物怖じせずに

1年生からシンセティックフォニックスを導入し、ABC順ではなく使用頻度順に英語の音を身につけ、聴覚だけでなく視覚、感覚も使いながら読み書き指導も行っています。

中学年

自分の言葉にして伝える訓練を

タブレットで発音の確認をしながらスピーチのための原稿を自分で作り、みんなの前で写真や絵を使い話すことで、1人でも学ぶ力や話す力を身につけます。

高学年

実践力を高めていく

グループの中で自分が話すパートを決め、グループスピーチを頻繁に行っています。友だちと一緒に原稿を暗記したり、改善点を指摘し合ったりする中で、お互い切磋琢磨して力を伸ばします。

独自のカリキュラム教材

既存の教材を使用するのではなく独自に教材を作成しています。目の前の児童が何を感じ、何を学びたいかを知っているからこそ教材づくりです。

TOEFL Primary®の実施

2022年度より4年生以上の希望者を対象に、TOEFL Primary®を実施しています。



研修期間：10日間

場 所： ニュージーランド・タウランガ

研修内容：現地小学校体験/ファームツアー

※感染症の流行状況等により予定が変更になる場合があります。



全員参加・全員理解を目指す授業

英語を習っている／いない、英語学習歴が長い／短いに関わらず、授業で理解できるように指導しています。

こだわりの英語教材

日頃から使っている英語教材は、児童の好奇心や興味をくすぐるものを使っています。授業はよりわかりやすく楽しみながら取り組めるように、教員の手作り教材を使うこともあります。



現地体験のできるニュージーランド研修



1家庭に1人ずつ、10日間のホームステイを実施。ホストファミリーの子どもと一緒に学校で授業を受け、ニュージーランドのさまざまな場所を訪れて、現地の文化を体験します。海外で過ごす日々は、児童にとって忘れない大切な思い出になります。



授業づくり

教わりたい!

和田 智恵美【国語科主任】

全ての教科の土台にもなる国語では、『読む・書く・話す・聞く』をしっかりと身につけます。2年生から教科書教材以外の応用問題にも取り組み、正しく文章を読み取る力を養い、丁寧なひらがな指導や漢字指導で綺麗な字が書けるように指導しています。また、授業内では児童の意見の交流や話し合いの時間を多く取るようにする事で意欲的に学習できるように心掛けています。

小田 剛士【算数科主任】

「これまでに習った内容をもとに、新たな考え方を作り出す」。これこそが算数の醍醐味であり、面白いところです。授業では、その時に使うことができる考え方を整理した上で、自分で新たな考えを作り出すための時間を確保しています。その考え方を共有する中で、児童が刺激を受け合い、自分の算数力を高めることに繋がると感じています。これは「覚える」算数ではなく、「考える」算数をつくるために必要なことだと考えています。

また、授業は教師と児童でつくり上げるものです。考えることに楽しみを感じる子が多い本校では、日々とても楽しく授業に取り組むことができています。

安田 裕香【社会科主任】

社会科では、「実社会との接点を増やすこと」を授業のポイントにしています。そのため、机上の学びだけでなく教室・学校から飛び出して、子どもたちが『本物に触れる』機会ができるだけたくさん作っています。“本物”を通してさまざまな体験をすることで、他の教科の学習にも良い影響をもたらすだろうと考えています。



井口光児 校長と 神吉清視 教頭

井口校長：本校の特徴は、まず児童が大きく成長できるような行事が多いことだと思います。周囲には昔から行事の学校と言われるほどです。

神吉教頭：毎年、行事では保護者ボランティアの手をお借りすることで、子ども、保護者、教員の和やかな交流の機会にもなっていますよね。

井口校長：行事だけに関わらず、常に子どもたちの側に寄り添う教員の姿が多く見ることができる事も私が誇りにしている所です。

神吉教頭：休み時間には教室で児童と将棋や談笑をしたり、運動場で鬼ごっこに興じる教員もたくさん見かけますね。児童と教員の心の距離が近いのも本校の魅力の一つだと思います。

井口校長：児童同士でも学年を越えた多くの友人を大切にし、卒業後も長くつきあいをしている子もいます。本校は約850人の子どもたちと約50人の教職員が、一つの大きな家庭を形作っている学園と言えると思います。

ティモシー・リッケンバッカー

"Since English can be a very tricky subject for many students, I believe in creating an environment where everyone can participate without fear of being wrong. Through mistakes we are able to learn and correct ourselves and to me it is important to nurture our students into feeling safe enough to make these necessary mistakes without the pressure of failure, but the opportunity to succeed. やってみなはれ!"

森下 真伊【英語科主任】

英語を楽しく学べるよう、いつも、子どもたちの興味に合わせたオリジナルの教材を作っています。同時に、学習を終えた時に児童たちが少しでも達成感を感じ、積極的に英語を使おうとする態度を後押しできるよう、いつもほんの少し、challengingな課題を取り入れています。

意欲的に取り組む児童が多く、どのクラスも、「みんなで学んで、みんなで成長しよう」という雰囲気なので、児童同士も助け合って学んでいます。

池川 直彦【理科主任】

実験や観察を通して体験を多くできるようにしている理科では、自分の考え方や他の人の考えを共有すること大切にしています。体験の記録をレポートにまとめながら、オリジナルのノートを作っていく、タブレットのカメラ機能を用いて、観察の記録も行っています。そこから、他の児童のレポートを見て参考にできる機会もつくることで、お互いの良いところを取り入れられるようになっています。





やってみたい！

体験づくり

みんなで協力、たのしく挑戦

豊かに学ぶ宿泊体験

みんなで協力して何かを成し遂げるという経験は、人間力を育むことにつながります。お互いに助け合ったり、時にはリーダーシップを発揮したり、集団の中での立ち回りやコミュニケーション力を学べる機会になります。



森の学舎(2年生)

楽しみながら学ぶ

オリエンテーリングやゲームなどで山の中を探検したり、集めた落ち葉や木の実を使って工作をします。



山の学舎(3年生)

協力しながら成し遂げる

登山やクラフト工芸などの体験をします。友だちと励まし合って到達する山頂の景色は格別です。



スキー学校(4年生)

大自然を体感する

2泊3日で鉢伏高原でスキー合宿をします。インストラクターからスキーの基本を習います。



臨海学舎(5年生)

達成感を知る

低学年からの水泳指導の集大成として遠泳に挑戦します。子どもたちは1kmもの距離を自力で泳ぎ切ります。

修学旅行(6年生)

歴史を学ぶ

2泊3日で広島・山口・北九州を訪問。各地の歴史や自然、世界遺産などにふれて、さまざまな体験をします。



「やってみなはれ塾」で放課後も楽しく有意義に

放課後教育の充実を図るため、2018年に誕生したアフタースクール。正規の授業に加えて、放課後も教育にとって重要な時間帯であると位置づけ、各種の新たな取り組みを実施し、多くの子どもたちのチャレンジをサポートしています。

協力

集団生活の中で
コミュニケーション力を
育む

興味

豊富な種類のプログラムで
より楽しく、深く学ぶ

環境

安心して学べる
環境の整備

豊富なプログラム

TKC雲雀丘学園小学校アフタースクール

放課後の学童保育として、安心で楽しく充実した時間が過ごせるよう応援します。宿題を終えた後、集団生活の中で、豊かな心とたくましい体を育みます。

GKS(グローバル・キッズ・スクール)

英語は全学年、1・2年生は英語+国語の塾です。
『和魂英才』、新時代に求められる能力を培います。

ロボットプログラミング

専用教室でプログラミングを学び、ロボットを動かします。論理的思考や繰り返し試行錯誤しながら問題解決を図る能力が自然と身についていきます。

そろばん

指先と脳を使うことで計算力
と集中力を鍛えます。

フルート

3年生から受講でき、集中力
や表現力を身につけます。

習字

集中力、書写技術の向上を
目標としています。

絵画

造形的な体験を重ね、想像力
を育みます。

ピアノ

完全マンツーマン制で右脳
と左脳を鍛えます。

サッカー

運動機能だけでなく、自立、
協調性も同時に育みます。

理科体験教室

探究心を育て、観察する力、
科学的思考力を鍛えます。

詳しくは別冊のパンフレットをご覧ください。
TKC雲雀丘学園小学校アフタースクールパンフレット





教育目標①

高く、豊かに、たくましく

豊かな人間づくりを基調とし、個性を伸ばす教育を行うとともに、
どんな苦労も乗り越えてたくましく前進し、真に社会に役立つ人材を育成する。

素直な心と感謝の気持ちを忘れず、人を大切にする心を育てます

雲雀丘学園小学校では、「子どもを指導するならば、まず大人がお手本を示さなければいけない」と考えています。我々教員が率先して挨拶や正しい言葉づかい、整理整頓を実践します。また、人に対する思いやりや感謝の気持ちを常に大切にしており、子どもたちに学校生活のルールやマナーが自然と身につく環境を整えています。

規範となりつつも、自主性は育てる。それが、本校の生活指導の考え方です。

一礼あいさつ

相手の顔を見てあいさつし、軽く頭を下げて一礼するのが基本姿勢です。これは、相手を認め、相手の心を大切にすることにつながると思っています。

ものを大切にする

親に買っていただいたものを大切に使うことは、親孝行の精神にもつながっていきます。文房具などはもちろん、掃除用具や遊具、楽器などの備品も大切に使うように指導しています。

時間を見守る

「チャイムは休み時間の終わりではなく授業の始まり」。これを徹底しています。時間を見守ることは集団生活を送る上で大切なことだと認識させ、自己管理の精神を育てます。



親孝行ができる子どもに

親孝行の日

創立記念日である10月1日を「親孝行の日」と定めています。日頃はなかなか伝えられない家族への感謝の気持ちを、児童一人ひとりが考えて表現、家族の深い愛情について改めて考える機会になっています。

親孝行とは、
自分が親にして
もらったことを一つ一つ
大切にして、ありがとう
という気持ちを行動
感謝の言葉にこめて。
することだと思いります。
また、親孝行は自分が喜ぶ
お母さんやお父さんが喜ぶ
ことをすることだと思いま

親孝行とは、
感しゃ、手伝いたけで
なん日ごろの行い、
健康なども含めると思いまよ。
その日だけなく毎日親孝行
できれば立派だと私は
考えます。

親孝行とは、
親に喜んでもらえる。
日ごろの感謝の気持ちを
伝える日だと思います。
そして、親に対しての
お手伝いだけではなく、
元気に楽しく健康に
過ごしている日々が
親孝行なのでは

とも考えました

いつも
虫の
おせわ
でつむって
みてね

いいとも。
しごとを
ほやほやぱつぱつくれたり、
ほやほやこの草木交い、
かよわせてくれて
ありがとう。ほんくさ
へんきうとがわんば
万加。すみ——
と、——

親孝行
の日私は全く
お母さんとお父
さんの手伝いをしました。
なのにすねは、いつもは一
つの日の夜お母さんが
私はあなたが元気に生きてく
れいい子に育ってくれるのがいい
番の親孝行だとよく言っていた。それが
私の考え方であった。私はずっと親孝行
とは親類のため金をかけ
だと思っていたけど、今は自分
が元気で生きて親孝行といつ
かがいいと言ったときの感想

報酬行動といふことは、
うつしているひと
がお仕事いやいろいろなこと
をしてお母さんとかお父さん
を助けておけることと
思っています。

親孝行は
親が日々やってくれる
こと、してもらってるこ
とに感謝し
かうがどうの気持ちを込めて
お返しことだと思ひます。
親も子どもをかいくくなつた
ことを親孝行だとながえます

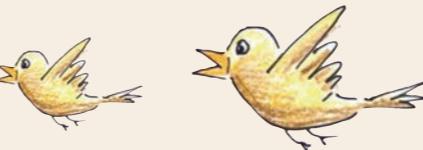
ママ
いつもおいしい
ごはん作ってくれ
ありがとうございます。
大好き。

たまつもわたひの
たまごがんとうを
たまごがんとうを
せんじくをしてられて
ありがとう。
これからも
これからね



年間行事

Annual events



前期

4月

5月

6月

7月

8月

9月

後期

10月

11月

12月

1月

2月

3月

入学式
前期始業式
歓迎朝会
健康診断
きょうだい学級集会
避難訓練

修学旅行
ドッジボール大会

学年別参観日
プール開き

臨海学舎
夏期講習(6年)

観望会
夏期講習(6年)
ニュージーランド研修

秋のつどい
観望会
前期終業式

後期始業式
きょうだい学級運動会
山の学舎

森の学舎
芸術鑑賞会
音楽発表会(2・5年)

PTAリユースフェスタ

書き初め展
スキー学校
避難訓練

子どもマラソン大会

児童展示作品発表会
送別子ども会
クリーン作戦
卒業式
修了式

※予定は変更になる場合があります。

入学式



プール開き



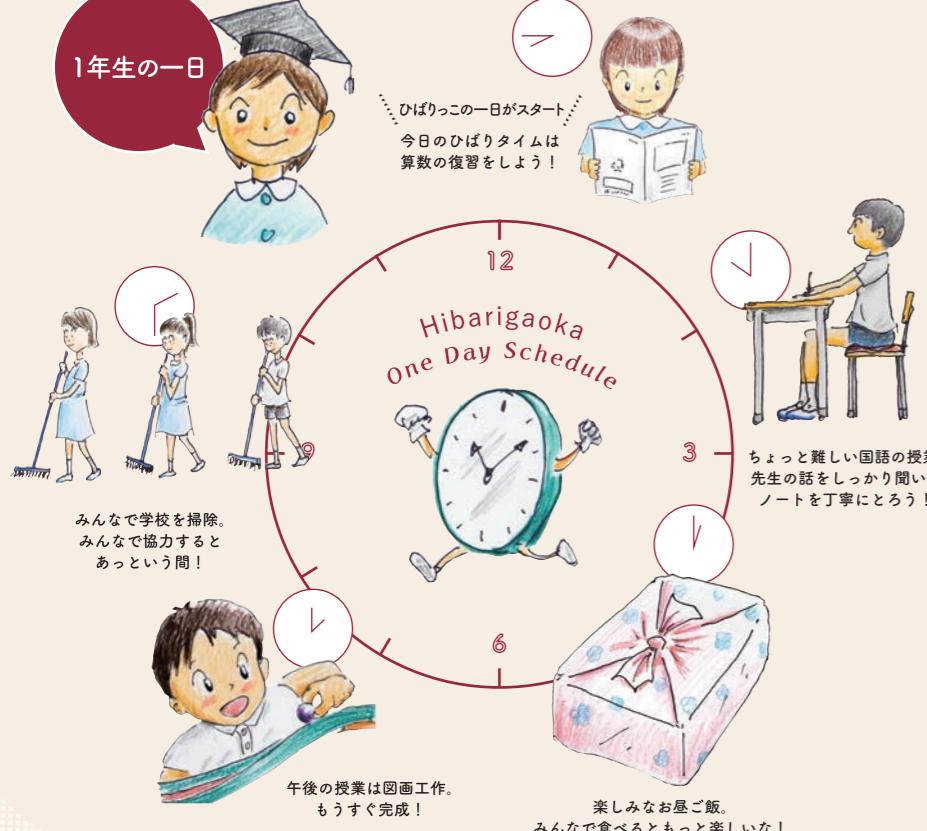
運動会



音楽発表会



1年生の一日



ひばりっこの一 日

